BULLETIN OF JAPAN BOOK IMPORTERS ASSOCIATION

洋書輸入協会会報

VOL. 19
NO. 7

（通巻219号） 昭和60年７月

理事会報告

５月28日(火)

㈠ ブックス・フォア・ジャパンの脱会

さきに届出のあった同社（賛助会員）の脱会を４月30日付けで承認した。

㈡ 総会の運営

午後２時から開催する60年度定時総会の議事進行方法その他について打合せた。

㈢ 出版文化国際交流会の会員募集

同会の５月１日付け会員募集の書状について報告があった。

㈣ その他。

文化厚生委員会だより

洋書輸入協会懇親旅行　北国への旅

協会としてはおそらく初めての東北、上ノ山温泉への旅行は、６月７日の入梅も目前ながら薄曇りの天候のうちに上野駅を出発した。今回はゴルフもテニスも無いためか、関西からの５名を迎えて総勢45名、日頃の煩雑な仕事を離れてどの顔も和やかである。

上ノ山着16時34分。思いがけないことに、斎藤茂吉記念館の館長鈴木啓蔵氏が駅に出迎えてくださった。白鴎洋書の秋山社長とは歌人仲間で、市長を三期勤められた後の現職ということだった。茂吉記念館の存在を知らなかった委員一同、すっかり感激し恐縮して、早速翌朝の訪館を予定に入れる。

陶芸のホテルと謳う〝古窯〟は、上ノ山葉山温泉街の高台にあり、奈良時代の古い窯跡を館内にもつ落着いた旅荘である。らく焼のコーナー、画廊もあったが、腕を試された方はおられなかったようで残念だった。

山形名物の紅花の湯など、たっぷりの湧湯に疲れを癒

理事会報告……1
文化厚生委員会だより
洋書輸入協会懇親旅行
北国への旅……1
72回　第39回コンペ……3
海外ニュース……3
おしらせ……3
外国出版社紹介　No.109……4
来日外人名簿……5
総代理店ご案内……5
広　告……6

したあと、宴会は挨拶、乾杯につづいて前掛姿に花笠を手にした女中さん達の花笠踊り。さし、引く、手ぶり足どりの軽やかさに誘われて踊りの輪に加わる人もあり、賑やかな幕開きになった。それからあとはお馴染みの、のど自慢の数々になったが、和服姿もたおやかな若き女将のご挨拶が入って、男性の目が一瞬針づけになった一幕もあった。宴果て、の後は囲碁、マージャン、カラオケと帰宅の心配のない夜を楽しめるのも旅である。

緑滴たる朝の木立のなかに、小じんまりした茂吉記念館は訪れる人も少なくひっそりとあった。静かな朗詠のテープが館内に流れ、歌人直筆の歌、書画の数々は、いずれも独自の境地と味わいを秘めて私達の足をとめさせた。つづく米沢では米織資料館、上杉神社に廻ったが、上杉さんのお賽銭が〇〇円だったとかいうのはデマだったのかしら？

白布高湯から西吾妻スカイバレーのコースでは、薄陽のうちに飯豊連峰の山脈を望むことが出来て、皆しばし想いを遠くに馳せた。

さて桧原湖畔での晝食は山形牛のバーベキュー。多すぎた牛肉の追加に、男性委員たちはお腹をさすりながら取組む有様だった。

茂吉記念館が入ったので、あとは野口英世記念館だけで郡山に直行したが、バス旅行の一日は、乗務10日目という吾妻山麓出身の新人ガイド嬢吾妻修子さんの素朴さと稚拙さが可愛らしく、前部座席では何かと教えてみたり、からかってみたりで温かい笑いを誘い、手馴れたガイド嬢相手ではない寛ろぎがあって楽しいものになったようだ。

郡山からは新幹線のお蔭で上野まで一時間半。ゴルフ組の車中での感想は、「やっぱりバスで廻るよりもゴルフの方が疲れないね」ということだったが、春の遅い北国の桜桃をお土産に、それぞれ家路についたのだった。

関西の皆様、新潟の考古堂さん、遠路ご参加くださいまして有難うございました。

来年もまた、良い旅ができますように!!

(K.H.)

72会　第39回コンペ　6月22日(土)

恒例のJBIA懇親旅行のときのゴルフコンペを、今年は取り止めたので、その代りに急拠企画されました。場所は上武CCで、メンバーの方に御無理をお願いしたものです。

今度は、支店廻りを終えた石田氏、アメリカ帰りの大野氏と、丸善の2強豪の久方振りの参加がありました。加えて優勝者には大野氏から、一発で入るアメリカ製パターの贈呈があるとのことで、梅雨空にもかかわらず、気分はいやが上にも盛り上りました。

どうなることかと思わせた早朝の豪雨も、コースに出ると共に止んで、どなたか心掛けの良い方が参加していらっしやるとの噂でした。

優勝は、近頃メキメキと腕を上げ、満を持していた西山氏で、2位には初参加のために1位を遠慮して頂いた宮原氏が入りました。

入賞者は下記の通りです。

順位	ゆうかり	八　塩	GROSS	HC	NET
1位 西山久吉(西山洋書)	43	47	90	23	67
2位 宮原隼人(丸善)	41	45	86	20	66
3位 手塚　隆(富士洋書)	42	43	85	12	73
4位 石田義起(丸善)	42	41	83	9	74
5位 鶴　三郎(東亜ブック)	44	46	90	16	74

BG　石田義起（丸善）
DC　和田・大野・金子・石田
NP　松下・竹内・中村・竹内

なお竹内氏（三重洲）には、ホールインワンもどき賞(カップふち）が出されました。

(H.S. 記)

海外ニュース

「くつろいだ楽天的雰囲気のABA大会」

サンフランシスコで開催された第85回ABA大会（5/25～28）は、一万7千人を越える入場者を記録し、大会もリラックスした楽天的雰囲気につつまれたものであった。5/27現在の書籍販売業者の参加は7千人を越え、今大会に対するABAの予測通りであった。

近年の大会と較べ、業界内の問題で紛糾もなく、大会は和らいだイベントの少ないものであった。おそらく識字と検閲という共通の主張にブックセラーがまとまりやすかったことによるものと思われる。

タレントや有名作家もあまり目立たず、会場で愛敬をふりまく人気キャラクターも少なかった。

あらゆるジャンルに亘ってベストセラー作家による新刊書が案内されたが、The Mammoth Hunters (Jean Auel) を除くと際立って注目を浴びたタイトルはなかった。他方、出版社がミニ・ベビーブームにターゲットをおいたため、児童書と児童向け非書籍商品の展示が目立った。大会前日の児童書セミナーが盛況だったことを考えると、今年の大会のサブ・テーマは児童書だったと言えよう。

(Publishers Weekly 1985年6月7日号から)
—紀伊國屋書店提供—

おしらせ

下記の通り移転の通知がありました。

ワコー洋書販売株式会社

〒152　東京都目黒区八雲2—22—16
(電話：03—717—9568、電話番号に変更はありません。)

ヴァイトマン社、オルムス社に加わる

OLMS-WEIDMANN　D-3200 Hildesheim, Hagentorwall 7

この度20数年ぶりに世界でも最古の出版社の中に数えられる、ヴァイトマン社がドイツの学術書出版界に戻った。ヴァイトマン社の歴史は17世紀中葉まで遡るが、第二次大戦中に会社が爆撃に会い、長年に亘る出版活動に大打撃を蒙った。その結果60年代に当時の社長、H.R. ライマーが、スイスとアイルランドに会社を移転した。移転先は学芸と出版の中心地から遠隔の地にあったので、会社の規模もそれ程大きく進展しなかった。しかし1983年夏に前社長が急逝したため、未亡人の意向に従って、業務の一切を W.G. オルムス社に委ねる事になったわけである。

ここでヴァイトマン社の沿革を見てみよう。ヴァイトマン書籍店は，1680年、モーリッツ・ゲオルグ・ヴァイトマンによりフランクフルト・アム・マインで創設され、1年後にライプチッヒに移る。そこでヨハン・ルードヴィヒ・グレディチュ、フィリップ・エラスムス・ライヒなどの著名な出版業者の指導や、ゲラート、ハイネ、ヴィーラントなどの文学者の協力が効を奏し、またたく間に出版界でも指折りの会社に発展した。

1822年、ベルリンの出版業者、ゲオルク・アンドレアス・ライマーが、ヴァイトマン社の経営権を獲得し、その息子、カール・ライマーと共に会社の経営拡大に異才を発揮した。当時、会社が契約を交した著述家の中には、フィヒテ、グリム兄弟、フンボルト、クライスト、ノヴァーリス、ジャン・パウル・シュレーゲル兄弟、シュライエルマッハー、ティークといった19世紀ドイツ文化史を飾る錚々たる人物がいる。

19世紀も半ばに入った1854年、会社はベルリンに移転し、ヨーロッパの戦火が収まる1945年まで同地にとどまる。会社の位置するツィマー通り94番地は、その周辺に店を構える他の出版社と共に、ドイツの学問、文化の伝統を保持，発展してゆく一大中心地であったが、大戦末期の連合軍による空襲で、ほとんど完膚なきまでに破壊される憂目に会った。またベルリン攻防戦ではヴァイトマン社が誇る、幾多の貴重な資料が灰燼に帰してしまった。しかし、ヴァイトマン社の立ち直りは目ざましく、ベルリン陥落後、数ヵ月を経ずして英軍から営業許可を取りつけ、会社の再建に乗り出している。

ところで、ヴァイトマン社は創建当時より特に，考古学，古典学，近代言語学、歴史、ゲルマン学，教育学の諸分野に力を入れてきた。19世紀の後半に至って、これに法律学と学校の教科書が加わる。また "Abhandlungen der Gesellschaft der Wissenschaften zu Göttingen" とか "Monumenta Germaniae Historica" の一部 "Deutsche Texte des Mittelalters" といった双書の刊行、さらに "Gnomon"，"Hermes"，"Funktechnik" といった雑誌の出版をも手がけてきた。

この度、ヴァイトマン社はオルムス社に加わる事になったが、オルムス社とは以前から関係が少なからずあり、オルムス社がヴァイトマン社から得たリプリント版の版権も多い。オルムス社は、最初、農業と地方地理関係の書籍を専門とした。ナチスに協力的でないという理由で、ヒトラー政権下、営業停止処分を受けたが、ヴァイトマン社と同様、終戦後すぐさま息を吹き返し、現在、学問的に重要な資料のリプリント版を精力的に発刊することで世界的に有名である。このような会社組織の中にヴァイトマン社も仲間入りするわけだが、運営には、オルムス社の経営陣、専属学識経験者が顧問として当たるとのことである。

（教文館　K・W 記）

来日外人名簿

5月下旬　Mr. Osborne, Director,
Mr. Emey, Export Manager,
Longman, London

〃　Mr. H. Wratton, Sales Director,
Mr. David Trimmer-Smith,
N.Y. Sales Director,
Mr. G. Conibear, Int'l Sales Mgr.,
Oxford U.P., Oxford

6月上旬　Miss Lorna Cullen, Deputy Editor,
Electrochemical Pub. Ltd., London

〃　Mr. Pearman, Sales Manager,
Heinemann Medical Book Ltd., London

総代理店ご案内

㈱ 紀伊國屋書店　☎(03)354—0131

The Institution of Electrical Engineers -UK-
……all periodicals

Peter Peregrinus Limited -UK-
……all periodicals

The British Library Research & Development -UK-
……all publications

New Zealand Ministry of Foreign Affairs -NZ-
United Nations Handbook 1984
……pap. ¥2,500

Schmidt Periodicals -GW-
Jahrbuecher fuer Nationaloekonomie und Statistik.
Bd. 1-160. Jena, 1863-1944. With Gen. Index to
Bd. 1-130 and Supplements 1-13. Bound
……set ¥2,650,000
Bd. 161-198. Stuttgart, 1949-1983.
(Partly in original unbound) ……¥850,000
Archiv fuer Rechts-und Sozialphilosphie.
Vols. 41-51 Berlin etc., 1954/55-1965 (1985 : 06)
……set ¥143,000
Zeitschrift fuer Organization.
Vols. 1-50 Berlin, 1927-1981 (1986) …set ¥682,000

丸　善㈱　☎(03)272—7211

CONCISE MEDICAL DICTIONARY Second Ed.
(Oxford Univ. Press, U.K.) ¥4,600.
Telephony (W) (Telephony Pub. Corp., U.S.A)
……Sea Mail ¥19,400.
……Air Cargo ¥47,100.
Communication Age (M) (Telephony Pub. Corp.,
U.S.A) ……Sea Mail ¥10,800.
……Air Cargo ¥25,100.

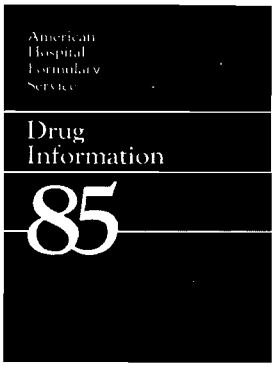
洋書輸入協会会報

200号記念合本 (No.101～200) 限定版 ¥4,300
送料 ¥500

100号記念合本 (No.1～100) ¥3,500も若干部数ございます。
お早目にお申し込みください。

American Society of
Hospital Pharmacists

アメリカの病院における薬剤処方の
全情報が一目でわかります。



American Hospital Formulary Service
Drug Information 85

市場に出ているすべての薬品に関する何千ものFactsを網羅。
薬剤師、看護婦、医師、医薬研究者、図書館には欠かせません。

年間購読料　¥30,000
メインボリューム　1巻(約1,700頁) plus サプルメント3回付
●資料ご請求下さい

WM Wood, Mackenzie & Co,.

国際的な製薬企業、市場製品の情報サービス

International Pharmaceutical Service

ウッド・マッケンジー社は国際製薬業界で権威ある、なおかつ客観的な分析によって知られる国際的な調査会社であります。
製薬企業の経営者層の要求を満たすため、ウッド・マッケンジー社は、製薬企業及びそのメンバー会社、市場、製品の現状と将来の動向に関する総合的分析と明晰な洞察からなるThe International Pharmaceutical Serviceを提供しています。
この分析は、ヨーロッパ、アメリカ、日本の製薬企業を訪問し経営者層と行った討議を基にしているほか、広範な調査データの完璧な分析、製薬企業に関する市場情報に基づいたものであります。

〈サービス内容〉
- Data Base（年刊）
- Pharma Forum（季刊）
- Management Information
- Confidential Studies

価格¥700,000/年　●資料ご請求下さい。

■表示「円」価格は予告なく変更されることがありますので、予めご了承下さい。■ご注文、お問合せは直接本社「代理店業務部」までお願い致します。

日本総代理店
USACO®

ユサコ株式会社

本　社 〒105 東京都港区新橋1丁目13番12号 堤ビル　☎東　京(03)502-6471(代表)
大　阪 〒530 大阪市北区堂島1丁目2番2号 日昭ビル　☎大　阪(06)344-6624(代表)
名古屋 〒461 名古屋市東区橦木町3丁目63番地　☎名古屋(052)931-2601(代表)
筑　波 〒300 土浦市富士崎1丁目7番21号 和光ビル　☎土　浦(0298)23-1773(代表)

昭和60年7月　通巻219号　洋書輸入協会　編集者　柴田　三夫
〒103　東京都中央区日本橋1丁目20番3号　蓋沢ビル603号室　☎271—6901
〒530　関西支部　大阪市北区芝田1—10—2　第一山中ビル　☎371—5329